

芦屋市教育振興に関するアンケート調査 自由意見一覧(教職員対象)

【教員調査・小学校】問12 今後、芦屋市の児童・生徒が特に身につける必要があると思われる能力や態度は何ですか。また、その理由についても自由にお書きください。

- ・ 「自ら学び、考え、主体的に行動する力」言語活動の充実が示されたずい分と年月が過ぎたが、教員が授業の中で実践しにくく、相変わらず教師主導の授業から脱却できずにいるので、多くの児童に上記の力が身に付けられずにいる。将来、自立して生活する上で、生涯を通して学び続ける上で、必要な能力であると考えられる
- ・ ☆他人とのかかわり、コミュニケーション、人間関係づくり。家庭環境、塾からの受験、競争意識などにより、個人への評価を重視されがちでより良い人間関係をつくる方法を学ぶ機会が必要だと感じている。
- ・ ICT機器、デジタル教材等々新時代の指導手法を取り入れる一方、鉛筆とノートと自分の手で丁寧に仕上げる根気、粘り強さ、努力、その成果を身をもって学ぶ、地道な学習も大切にしていきたい。表面だけの学習は活用力につながらないと思う
- ・ 相手の意見の良さをとらえ、それをふまえた上で、新しい考えを作り出していく力。
- ・ 相手を思いやる、考える気持ち、勉強もだが、人間的にも優しい想いを身につけるべき
- ・ 芦屋市での公立学校離れは他地域と比べて高い感じがする。であれば、公立ならではのきめ細やかな、公立でしかできない連携(つながった)した教育を上げる必要がある(幼・小・中連携)
- ・ 生き方を考えること。中学受験に象徴されるように、親に(塾)に言われたから…、という判断が多く主体的でない。子どもたちに夢を持つ大切さを感じてほしい。
- ・ 生きる力、我慢する力(ワガママが多い)
- ・ 生きる力と豊かな心。知識基盤会社の中で自らのアイデンティティーを持ち、思考力判断力、表現力を発揮できる学力。相手意識をもって接することができる思い合う心(やるではなく)
- ・ 一般的なモラルやマナー、大人も良くない人が多くいるので
- ・ お互いの個性を認め合い、お互いが許しあったり、協力したりしながら、主体的に学校生活を送りやすい環境を作っていく態度を身につけて行って欲しい。
- ・ お互いの個性を認め合い、お互いが許しあったり、協力したりしながら、主体的に学校生活を送りやすい環境を作っていく態度を身につけて行って欲しい。
- ・ 思いやり
- ・ 学習習慣をもつ、コミュニケーションの力を高めるために子どもどうし関わりをどのように授業などで取りくんでいくか。
- ・ 学校と家庭の連けいです。自分の子どもだけでなく、みんなで子どもを育てていくという意識をもたしていきたい。自分がそうやって育つと大人になっても学校に協力的になる子、教育を考える子(大人)が育つのではないのでしょうか。
- ・ 感謝の心、皆に生かされている事(理由)自分中心に物事を考える児童が多い
- ・ 基礎学力を活かす力、地域に発信する力
- ・ 基礎体力の向上、特に芦屋がという訳ではないが、家ではゲームばかり、公園に行ってもゲームをする子が増えている。自然の中でも体を動かさずという習慣がない。逆に勉強ばかりというケースもある。

- ・ 基本的な生活習慣。自分の子どもばかり見ずに、全体の中で生きていくことを親が教えていない。そうじの仕方(ほうきの持ち方、ぞうきんのしぼり方)、はしの持ち方なんて、どうして学校が教えなければいけないのかな？
- ・ 教科の基礎的学力、思いやりの心や善悪の判断などの道徳心を身に付ける必要があると思う。そのためにも教職員の指導力、人権感覚が今、問われていると思う。現場にいて、教師の子どもを育てる意識の低さを感じる。子どもの育ちを子どものせいに親のせいだけにしてはいけない。教師としてどう子どもに向き合うべきか学校全体で考えたい
- ・ 共感する能力、違いを受け入れる感性、科学的思考(事実に基づいて思考する力)
- ・ 協働力
- ・ 健全な自尊感情。「自分に対する肯定的な感情」や「自分で自分を価値あるものとする感覚」をしっかりと身につけてほしいと思います。それがあれば、自分自身を大切にすることができ、自分を大切にできて、初めて他者を認めることができるからです。
- ・ 公共の場・社会でのマナーやルールを子どものうちからみにつけさせたい。他人とのコミュニケーション力をつけさせたい。
- ・ 心豊かに生きる力。お互いを認め合う力を育てたい。自分中心な考え方、被害者意識の強い子など、心のかみしい子が多い様にかんじられる。
- ・ 子どもが自ら考え判断し実行する力、少子化等の理由で過保護過干渉で、子どもが自ら考え判断し実行する機会を奪っていることが多いように思うから。
- ・ コミュニケーション能力、表現力、個人差あり。あいさつがなかなかできない。
- ・ コミュニケーション能力、礼儀などの基本的な人と接する能力。私学進学指向などが強く、塾通いも多い中、学力よりも社会に出ていく上で、基本的な人に対する礼儀、話の仕方などを知らない子どもが多いため。(人に何かをしてもらっても「ありがとう」すら言えないなど…)
- ・ コミュニケーション能力…もめごとが多く基本的な人の接し方がわからないことが多い
- ・ 自主性、自分で考えて行動する力を身につけてほしいです。
- ・ 自尊心の向上とコミュニケーション力。また、子どもの頃の遊びの体験がとても少ないので、危機回避能力も低い。これくらいなら大丈夫という経験が、親も子どもも少ないので、不安感が高い子どもや保護者が多い。
- ・ 自他ともに尊重し、理解や協力をして共に生きる力。(理由: 現在勤務校で接している児童の中に、自分のことを「どうせ…」と投げやりに考えたり、わがままを通して身勝手に振る舞う子が目立つが、将来お互いが困った時(特に災害時)にどう助け合って良いか分からないのではないかと感じる。)
- ・ 自分で考え、それを発信する力、それだけでなく、相手の考えを受け入れ自分の考えと比較する力、そして実行する力。様々な人と一緒に行動する力←意見や、考え方のちがう人とどうやって一緒にやっていくか、それができる調整力
- ・ 自分で考え課題を見つけ、それを解決していく力。情報ソテラシー、情報社会の中でどのように生きていくかを自分で考えなければ、世の中についていけなくなるから。ICTのない世界はもう考えられないのに小学校・中学校で今の世の中にあったICTの活用をしていないことが(できないこと)、なさけない
- ・ 自分の思いや考えを、相手に伝わる様に表現する力やコミュニケーション力を身に付ける必要があると思う。理由: 自分の思いや考えを持つことはあっても、それを上手く表現できず、問題行動にうつしてしまう場面が多いと思うから。
- ・ 社会生活を円滑におくり、将来社会人として自立するために必要な社会的ルール、他者への思いやり、身近な人への感謝が必要。子どもや保護者の言動に自己中心的なものがとても気になる。

- ・ 社会的ルール、規範意識、善悪の判断。本来ならばある程度家庭で身につけるべきものが今は残念ながら力が弱い。むしろ十分に力をつけられていないまま就学し、教師の言うことに素直に耳を傾けられない状況になるパターンが多い。家庭の安定、保護者の育力が問題かと思っている
- ・ 弱者といわれる人たちとの協働学習の場を定期的に設定、あるいは共に学習する環境をつくる。そして、同じ人としてちがいをあたり前に受け止め、文化や言語、身体が違ってあたり前に社会の一員と受け止められる能力が育まれる学校教育現場であってほしい。
- ・ 受験に対する考え方。受験を選ぶのは自由だが、公立に行く子をばかにする考え方は辞めさせたい。平気で受験前に休むのも理解できない。
- ・ 主体性、比較的恵まれた環境におかれているためか、誰かが手をかしてもらえる場面が多く、自分で失敗して学ぶなどの経験が少ない気がします。また、人にたよることが多い。
- ・ 障害者や外国人、性的マイノリティなどなど、弱者に対して共に生きていこうとする態度。芦屋は裕福な家庭も多く(それが理由とは一概に言えないが)人権感覚が乏しく感じる人が多い
- ・ 自立心、自分に厳しい、他人に優しい、そういうたくましい子が少ない。協調性、他者を理解しながら、自分の考え、思いを述べて行く子が少ない。
- ・ 人権感覚、差別や平和についての感覚、他の地域では軽じられる傾向がある為
- ・ 生活習慣の乱れ、整理整頓など躰がいきとどいていない子が多い印象を受けました。
- ・ 創造する力、生きぬく力、人と協力する、自分の考えを伝えられる力
- ・ 体力、運動に親しもうとする態度。体力テストにおいて体力低下が感じられるため。休み時間に外で遊ぶ児童が少ないため。
- ・ 体力。外で遊ぶ機会がへり、授業中でも姿勢を保持できない子がふえている。学力の向上させるためにも大切と考えられる。
- ・ 体力が落ちていると感じるので、体力向上と基礎基本を定着させる時間の確保
- ・ 体力の向上
- ・ 体力の向上、すぐにつかれたという
- ・ 体力の向上、バランス感覚の向上。体力については全国平均を下まわる。少しでも近づけることと走ることも含めてできない子があまりにも多い。
- ・ 体力をつけることだと思う。金曜日になると、体調不良を訴える児童や生徒が多すぎる。
- ・ たくましく生きぬく力・心(理由)大学生をして「ガラスの心」と言われる時代であり、子どもの育ちである。そのことを改善していくことが求められているから
- ・ 他人に思いやりをもって接する態度、小学校の発達段階で他人への思いやりの心を育てるのは、社会生活での基本となると思うので。
- ・ 他人の心をそうぞうしようとしてみる心をつけさせたいです。むかんしんだったりあまりふかくかんがえたりしていないことがあるからです。
- ・ 多様な人格、人種の人と共に生きていく、支えていく能力。自分だけでは生きていけないことを子どものうちから学んで行くべき。
- ・ 地域差を感じるが、公共の場での態度や規範意識が低い児童が多いように思う。「勉強さえできればいい」と考えている児童・保護者が多い。学校のことが一番ではなく、習い事が一番と考えている児童・保護者も多い。

- ・ 地域の人との交流、働いたり作業などをしている人との交流・見学
- ・ ちがいを認め、自分のことも友達のこと大切でできる子どもに。人権かんかくを育てる。
- ・ 道徳、人権感覚を身につける必要があると思います。日常生活において、気になる言動が目立つため。
- ・ 道徳的価値観の向上。当たり前の善悪の判断が低下しているように思う。
- ・ 友だちとのちがいを認め受けとめる力、関心をもつ友だちに対して関心が薄い、自分とのちがいや友だちの個性・性格を受けとめられない認められない子が多い。ちょっとした違いをからかったり冷やかしたりする。誰でもあるミスを流せない。
- ・ 共に学ぶ力を育むこと、それぞれのつながりを強くするような学習を進めること
- ・ 場面に応じて、自分の考えをしっかりと相手に伝えていく能力。単純なことには対応できても、その理由は言いにくい。考えて行動する力を育てたい。
- ・ 人と関わる力、相手の立場に立ってコミュニケーションを図る力(子どもも)親も「我が子が一番」という考えが根強く自分勝手に幼稚な言動が目立つから。
- ・ 人と関わる力。 やさしくする。親切にするなど、当たり前の事が出来る子にしたい。
- ・ 人に迷惑をかけないマナーを身につけること。注意されてもきけない子、くりかえす子が多いため。
- ・ 人の話を聴く力をつけさせていきたい。自分の考えが全てにならないように、多様な考えに触れ、いろいろな世界を知っていくことが必要。そうすることで学びも高まり、思いやりの心も育まれると考える。
- ・ 人を思いやる心を育てる、常識マナーを身につける、自分さえよければいいという子どもが増えていく。親が教えるべき常識が身につけていない
- ・ 防災教育をもう少し深く進めるべきだと思います。1、17集会など実施しても、集中を切らし、事の大きさを実感できていないように思います。
- ・ 他の人と関わる力。自己中心的な子が多く、自分の思い通りにならないとトラブルとなる。
- ・ 他の人の意見や現状を受け入れ、自分の考えを持ち、課題があればねばり強くとりくむ能力、態度。多くの問題が上記の能力や態度が不十分なために起こっていると思われるから。
- ・ まずは自尊心①自尊感情を高めること②いろんな多様性を認めること。理由①自分を好きな子は、他の子への思いやりもありいじめ、不登校、非行などあらゆる問題行動から遠ざかると考えるので②教育の格差や能力の差により、高学歴にこだわり、人を見下す傾向があるので。いろいろな考え方、生き方があるというものの見方を養いたい
- ・ マナー、ルール、道徳的規範、そしてコミュニケーション能力が不足しているように感じる
- ・ マナーの悪さが目立つ。大人ももっと守るべきことがあると思う。(子どもが…の前に)まわりの人を気遣うやさしさがもっとほしい
- ・ 周りを思いやる心理理由ー1人ひとりがその心をもてば学校も地域も社会も国もよくなっていくと思うため
- ・ 自ら考えて行動する力。与えられたものだけはこなすがそれ以上のことはしようとしなない。周りが困っているのに気づいていても気が利かないから。
- ・ 見通す力、先を考える姿勢、忘れ物など、今どうすべきか、考えてない、わかってないところが多い
- ・ 身につけていないというよりも、身につける場が日常生活の中で減っているということだと考えている。
←(人とのかかわりの中で、自分の気持ち、考えを伝える力。相手の気持ちを創造する力。)自分の気持ちを発信すること→(直接伝えなくて、人を頼ってしまう。自分の力でのりきらないといけないこともある。)

- ・ モラル・マナー
- ・ 山と浜では現状が大きくちがうので難しい

【教員調査・小学校】問13 芦屋市の学校教育に関する事で、今後、特に力を入れていくべきだと思います。それは何ですか。また、その理由についても自由にお書きください。

- ・ 「いじめ」「暴力行為」についての指導
- ・ 「読み・書き・そろばん」と「ICT」とのバランスの取れた学力。どちらかと言えば、前者に比重を置きたい。パソコンやタブレットは児童・生徒の興味を引くことはできるが、それがメインになると本末転倒である
- ・ ○国語力、読み、書き、話す、聞くベースの力は油断するとすぐに滞ってしまう。基礎、基本の力として、大切に意識すべき。○情報処理、選択能力。多くの情報をどのように活用するか、主体性を持って処理する能力が足りないと思う。
- ・ ○上記と同じ。○せまい市なので、各校の設備等、差のない様にハード面は合わせて欲しい。
- ・ ☆家庭との協力関係づくり。学習、生活面、友達関係…どの分野においても、地域ごとに特性がある。学校の役割というものを周知統一して、協力関係をきずくことが大切。
- ・ 1、授業改善の取組「生きる力」の育成には必要不可欠であるから2、学校の適正規模のための校区見直し偏りを改善するかどうかを市全体で考える必要があるから
- ・ 20代の若い世代の教師が増えている。その世代が力をつけていけるよう、今の芦屋の教育をつくってくださったベテランの先生の大切にしてきたことを学んでいく場が各校にあればと思う
- ・ 4年生にチューター
- ・ アクティブラーニングのより一層の充実。子どもにつけたい能力を明確にして、学習活動をさせたい。そのために具体的な研修が必要である。
- ・ 親から求められていることがとても多く、担任1人ではクラスの仕事を勤務時間内にまわしていけないと思う。少人数クラスまたは副担任など教師数を増やすことを望みます。
- ・ 外国人ALTを小学校に…？とは感じていました。夏に体験で外国籍の児童も来る。低学年でも英語に親しみがもてれば…。
- ・ 外国にルーツを持つ児童への支援体制の充実
- ・ 学習力の定着は当然だが、体力、気力、道徳心等々点検と実践、粘り強い教員の育成
- ・ 学校園の適正規模の検討(総廃合ではない)
- ・ 学校規範の適正化何年も子どもを借りぐらしの教育で学習させるのは、おかしい。
- ・ 学校施設の充実→校庭がせまい、学習園や理科水槽(ビオトープ)などが日当たりもわるく●要！職員をふやすこと、年齢のバランスをとること→山側、浜側の実態をふまえた職員配置を！！
- ・ 家庭や地域と学校が、共に未来を担う子どもを育てるという一つの目標に向かい、連携してゆくこと。(理由:学校も家庭も地域の場も全てが子どもの発育に大きな影響を与える要因・環境だと考える。特に子どもの道徳心や態度の形成には家庭の協力が必要不可欠であるから。)
- ・ 教育格差を少なくする。多様性を認める教育の重視。自尊感情の向上。教職員のマナーやモラルの向上
- ・ 教員の基本的な授業力の向上、子どもを観る目を高めていくこと。雑務が多いので、もっと教員が授業を充実させるための時間をとれるようにして行く。
- ・ 教員の資質や指導力の向上。教師間の連携を蜜にして共通理解をはかる。管理職の先生のどういう学校にしたいのか、子どもをどう育てたいのかがないと、教師間の連携ものぞめない。

- ・ 教職員の数を増やすこと。少人数授業の工夫。理由：職員数が少ないと校務分掌を多く抱えることになり、子ども達と向き合う時間が減る様な気がするから。子ども達一人ひとりをしっかりと見ていくためには、少人数で授業を行う方が良いと思うから。
- ・ 教職員の多忙化の解消を第一にしていくべきだと思います。そうすることで子どもと関わる時間が増えたり、教職員自身の心身も健康になると思います。
- ・ 勤務時間の適正化
- ・ 現在は若い職員、経験の浅い職員が多いことから、まず、その力量アップさせることが重要だと考えます。不安定な土台の上に、特別な取り組みを行っても、効果があらわれにくいと考えるから。
- ・ 高学年の1クラスの児童が40人学級ということについて考慮が必要。対応のむずかしくなっている児童、保護者との問題や確実な学習習得のため、せめて35人学級にしてほしい。英語の専科教師を配置すべき。これから国際社会を目指す児童にとって正しい発音、英語力がのぞまれるため。
- ・ 心の教育。何事においても一番もとになる心を育てることが、一番大切だと思うので。
- ・ 子育てで大事にしたいことを保護者にむけて伝える場を市として持つ。決めつけや思いこみで人を判断しない。うわさを広げるこわさ(けいたいメールラインなど)子どもが生きていく上でつけてほしい力、どのように親はかかわるか。
- ・ 子どもたちを見ていて、経験不足だな、と感じることがあるので体験活動に力を入れ、色々な体験をしてほしいと思う。
- ・ 子どもの心を育てること。学力に眼が向き、心が置きざりにされているように感じます。家庭とも連携し、体験等、心を動かす機会を多く作りしっかりと子どもの心を育てる必要があると思います。
- ・ 子ども1人ひとりが自己を発揮することができるような場が作られるように力量を高めること。一学級の定員を減らすこと
- ・ コミュニケーション能力の向上、基礎基本の定着
- ・ 算…四則計算(+、-、×、÷)の習熟、漢字などの基礎学力
- ・ 仕事内容の見直し。子供に向き合うための時間と気持ちの余裕がほしい。
- ・ 自主的、協調的に学んでいく子を育てていくこと。
- ・ 施設・設備・備品等の充実。創造的な、有効な教育活動をしようと思っても、教材費用や備品購入予算に限りがありすぎて、毎年、何かを我慢していることが多いため。
- ・ 自分も含めて教員1人ひとりのたゆまぬ自己研鑽、理由—必ず子どもにも自分にも返ってくるため
- ・ 自分や友達や家族を大切に作る心を育てる。あまりに暴言や暴力が子どもの中で多いと感じるから
- ・ 授業も含め、子ども同士をつなげる指導(一斉授業からの脱却)わかる授業への工夫(教師の授業力UP)一人一人の子どもの反応に敏感になれる教師の力量UP
- ・ 障がいをもっている子に対する教育、交流学級に入れていただけで良しとしている(手をぬいている)教師が多数いる。その個に対して教育、その子に何が必要かをもちと考え、個に応じた個別指導を入れるべきである。もっと専門性(プロとしての)を養うべきである。
- ・ 小学校区の再編成、クラス数(児童数)が多くキャパを越えている学校に隣接する学校の児童数が少ないということが起きている。子どもがゆとりのある環境で学ぶ権利を保障するためにも各校に適正のクラス数で設置ができる校区再編に力を入れるべきだと思います。
- ・ 少人数学級、1人ひとりの実態に合わせた教育をするためには、現状の40人学級は多すぎます。

- ・ 少人数学級の実現。40人学級では子ども1人ひとりをじっくり見ることは困難
- ・ 少人数個別の能力に応じた教育、丁寧に対応し、ひとりひとりの能力を伸ばすには、職員の数を増やし少人数での取り組みを増やすことが重要であると考えため。
- ・ 少人数制(高学年ほど)
- ・ 少人数制できめ細かい指導が必要。クラスの●●数を減らす、教員の数を増やしてほしいです。
- ・ 人員のかくほです。教員が子どもにしたいことが多くあっても時間的にやりたいことをするのが(準備など)難しく、やればやるほど教員自身が苦しくなります。
- ・ 設備の充実です。同じ芦屋市立なのに設備、環境に大きな隔りがありすぎます。山の方の小学校はグラウンドが狭すぎます。
- ・ 全学年35人以下学級にする。→子ども一人一人にもっと目をかけられるから。5人違うだけでも、まったく違います。
- ・ 全教室にプロジェクターの設置を進めていただきたい。現状のテレビでは大きさが不十分で全ての生徒が快適に見えているとは言えないので、タブレットを導入するのであればなおさら、プロジェクターの必要性を感じます
- ・ 他と協力する力を育てていく。自分本意の子、親が多い。塾通いで学校の学習をおろそかにする子、学校には任されないという親、私学志向で1ヶ月あまり受験のため学校を休む児童、どうかと思います
- ・ 地域との連携、教員だけの力では不足がちな部分も多いため、共同できる部分を充実させていく。
- ・ 道徳です。人権教育が前面に出ている様ですがそれ以外のところを、より、きちんと指導する方がよいと思います。
- ・ 特に力を入れていくべきことはたくさんありますが、毎年このようなアンケートを書いているにもかかわらず、現場の負担は軽減されず、何も変化がないのが納得できません。若手の職員が増え、皆で協力しながら学級運営をしていかなければならない時期に、好き勝手な言動で周りに迷惑をかけている教員もあり、大変迷惑です。子どもたちや教育を変えようと思うならば、教員の規範意識を向上させることが先決だと考えます。
- ・ 特別支援学級の介助員など、いろいろな子どもたちがふえている中、援助をもらえる人員の配置。
- ・ 特別支援教育だと思う。今、特別支援の児童も一斉授業にいれているが、実際は、教室の外にいたり、児童が義務教育課程を終えて、社会ともっと深く関わらなければならない時に、必要最低限の生きる力が身につけていないと思う。特別支援の児童が自立に向けて支援していく授業が必要だと感じる。
- ・ 特別支援児童への配慮、先生が少なすぎます。足りません。
- ・ 特別な支援を必要とする子どもたちを中心としたクラスづくりです。担任だけではきめ細やかな対応はむずかしく子どもたちが安心して過ごせるよう教員を配置、もしくは少人数で授業をしていきたい。
- ・ ハード面の設備の充実—プールなど現実に何とかしないといけないことがある。人員配置—1人1人を細やかに見るなら必要。色んなことを報告させて「あては君たちの知恵とさきで…」ということが多すぎて、多忙さが解消されない
- ・ 配慮を要する児童への具体的な対応や、保護者対応がスムーズにいこう、教職員や各機関が連携していく事。
- ・ 複数の大人、教師でかかわる体制づくりに力を入れていくべきだ。高学年の40人学級はとても負担が大きく、低学年で少人数できめ細かく落ち着いて取り組んでいたものが、マイナスに傾いてしまう。教職員の増員をはかり、チームとして子どもたちを見ていけるようにしてほしい。
- ・ 保育所の充実、教職員の負担軽減、職員を増やす。

- ・ 保護者(家庭)との関係→問題行動を起こす、教師を教師と思わない児童は、親が学校を信頼していないことが多い。
- ・ 保護者の学習参加を進めていく。授業の同じ場面で子どもの姿を見て、子どもの育ちについて、親と話を進めていきたいため。
- ・ 本気で教育に取り組むことができる人材を、教育現場市教委管理職に入れる必要がある。
- ・ 目的意識をはっきりと持って学校生活を創り出せる環境づくり。例えばゴールが見える学びづくり、めあてを達成させる特別活動、満足できること感動できることなどの体験の場づくり
- ・ 優秀な人材を増やすこと。1学級の人数を減らすこと。危機管理能力をもち、判断力のある管理職の指導育成をはかること
- ・ ゆとり
- ・ 臨時講師はよく見てほしいです。(受け入れについて)
- ・ 若い先生、経験のない先生が多く入ってきています。具体的に授業や児童の指導のし方をアドバイスしてくれる人、来てもらっていますがあれだけで足りるかなと思います。

【教員調査・中学校】問12 今後、芦屋市の児童・生徒が特に身につける必要があると思われる能力や態度は何ですか。また、その理由についても自由にお書きください。

- ・ 「生きていく力」だと思います。平和を希望し、仲間に寄り添い生きていく力。
- ・ 「我慢をする」この事が色々な場面でできない児童生徒が多いと思います。自分の思いを発言したり、行動に移す事は良いが、その場、その場に言うべきかするべきかなど考える力があまりない様に感じています。
- ・ 家庭教育がしんどい所のケア・不登校生徒の第三の居場所の充実・メディアに対する(←人権意識の乏しい)抗議
- ・ いじめについて。いじめをしない、ゆるさない心、小学校からのいじめでとてもきずついている生徒がいる
- ・ 一般的なマナー
- ・ 学力だけではなく情操教育。与えられた課題をするだけでなく自ら学び、考え、主体的に行動する力を身につける。社会に出た時に、十分頑張ることができる力を義務教育の間に身に付けておくべきだと思うから。
- ・ 学力は高いがそれを発信、表現する能力をのばしていけると更によくなると思う。良くも悪しも小さくまとまっている。
- ・ 学校、地域から、温かく見守られ育ってきているので強く生きていく力を育てていきたい。
- ・ 基礎体力、語学力
- ・ 現状のまま、継続させていくべき
- ・ 公共交通機関を使用する時のマナー→以前、自分の身内が電車で、遠足(社会見学)する小学校を見た際のマナーが大変悪く、教師が指導せず座っていたのを見た。とのこと。それが芦屋市内の小学校だと会話(教師のおしゃべり)から知り、驚いたという話を聞いたため。
- ・ コミュニケーション力、生きていくうえで本当に大切に必要な力であるから
- ・ 困難に立ち向かう姿勢、しんどい時に踏んばれない。幼・小時代に色々なスポーツを経験させ、基礎体力の向上を図る。
- ・ 困難に負けない力、人権意識、国際感覚(ツールとしての英語も)コミュニケーション能力、たくましさ、自尊感情
- ・ 自尊感情が低いのではないかと思います。自分に自身を持って、他と違っていいことをもっと心の中に入れてほしいです。
- ・ 自分で考えて、自分で判断して、自分で行動できる力を身につけていく必要がある。指示待ち、言われたことだけしかできない、そういう生徒が多いように考えるからである
- ・ 自分で自分の身を守ったり、正しい事を行える力。学校外や携帯電話によるトラブルが増えていると思うから。
- ・ 自分で判断しそのことに責任をもつ力。周囲に合わせる傾向があるが、自分の考えをしっかり持ち表現することがこれからの社会で求められると思われるので
- ・ 塾ではなく、自分で勉強をする習慣。結局、自分で考えて身につけた能力でないのもので、応用力がない。
- ・ 小学校の時期から、進路を意識した学習態度や、そのための生活習慣の実行を身につける必要があると思う。中学校入学の段階ではなかなか取り戻せない現状があるため。

- ・ 将来を見すえた主体的に自らの進むべき進路、職業を考える力、現在のカリキュラム等での取組みが少ないと思われるため
- ・ 自立、我慢、苦勞なく育ち、困難に立ち向かう力のない生徒が多くなってきている。あらゆるシーンで親が手助けするなど。親がいなくなったときや社会に出た時苦勞することが多いと思う
- ・ しんどいことに立ち向かう。少しの勇気を出して前にすすむ力や、毎日学校に通うことの大切さを家庭とともに話し合うことが必要かと思えます。もう少しがんばればというところで休んでしまう子が多いように感じます。
- ・ 対人関係能力の育成。少子化、家庭の教育力の低下などの原因により、子ども同士のつながりが薄れたり、関係の作り方がうまくいかないが多くなってきているから。
- ・ 体力、知恵、何があっても生き抜く強さ。状況を見て自分で判断して動けるようになること。非常時に自分を守る術でもあり、人として生きていくために必要な事だから。大人が見守り、励ましていきながら6+3年間で少しでも身につけていけばいいと思う。
- ・ たくましく生きていく力。親の過干渉が多く、決断力に欠けている生徒が多いため。
- ・ 知識を使って考える力。何のために知識を身につけようと学んでいるのかがピンときていない生徒がいるから。自分で考えられるようになると学び方が変わる気がしています。
- ・ 道徳心
- ・ どのような事が起きても自分で人生を生きぬき幸せを感じる心を育む必要があると思われる。親が子どもの力以上のことを求めたり、口や手を出しすぎていると感じるため
- ・ 忍耐力…運動にしても勉強にしても根気よく取り組むこと
- ・ 人との関係づくり、手を出してコミュニケーションをとったり、声かけもきびしい声の子が多い。
- ・ 人の気持ちをわかるような心が必要だと思えます。最近心ない言葉がとびかっているから
- ・ 部活動、特別活動を充実させ、生徒達が、自ら物事をやりとげ達成感を味わう機会を多くする。小中でしっかりとした心の育成を行う。
- ・ まずは、礼儀、マナーだと思います。そして道徳心を養い、人として、命を大切にすること、ということを考えられる人間へ。足りない。
- ・ 周りの生徒との接し方、言葉や力の暴力が散見される
- ・ 自らが、自らの道を自己選択する
- ・ 自らが考える力や姿勢、自身を持って挑んで行く姿勢を培ってほしい
- ・ 自ら考え行動できる自立心、協力できる思いやりを持って接する仲間づくり、社会でやっていける力
- ・ 目上の者に対する礼儀、マナー、道徳観
- ・ 恵まれた家庭の多い芦屋の児童、生徒に必要なこと、生きる力

【教員調査・中学校】問13 芦屋市の学校教育に関することで、今後、特に力を入れていくべきだと思うことは何ですか。また、その理由についても自由にお書きください。

- ・ 「良い事」「悪い事」をきちんと指導すること。やって良い事、いけない事の判断ができない生徒が多くいる中での指導に甘い部分を感じている。
- ・ 1、市から出向して市教委事務局で職務に従事する職員は所管する教育機関に足を運び、現場を見るべきである。現場の職員と話すべきである。2、問10に小中連携の設問があったが、現状は形だけというレベルである。こんな状況が続けても時間のムダである。本気でやろうとするなら、このたび成立した汐正学校教有法にある小中一貫の義務教育学校という制度を採用すべきであろう。
- ・ ICTの活用、仕事の効率化にもなるし、生徒の気を引きやすい。今は思いついても実行できることが少ない。
- ・ 忙しすぎる。せめて放課後くらいは子どもたちと授業以外で接する時間が欲しい。現状は会議等で部活にもほとんどいけない
- ・ 今取り組んでいることをさらに充実させていくことが大切だと思う。
- ・ 外国人生徒も増加している。多文化教育について理解を深めることが必要。また日本語の理解や文化の違いをサポートするために専門のサポーターや校内での担当教師も必要です。
- ・ 外国にルーツを持つ生徒・児童への支援→増加しているため、学習面でも生徒指導面においても対応が必要。教師の忙しさの解消→多文化進路などの調査を何種類も同じ内容で提出しなければいけないので、時間が取られる。子どもと接する時間が少なくなっている。校務分掌を平等にしていける必要がある。
- ・ 各家庭が多様化していく中で、家庭力の低下が年々気になる。家庭の格差をどううめるか課題である。給食(中学校)は必要でない。教員の負担をへらすべき！現場をもっと知るべき！
- ・ 学校間でいろいろな違いがあるのは当然だが、今のような時代にHPで学校の様子、子どもの様子を地域や保護者に見てもらおうのはとても大事なことで保護者の信頼、安心にもつながると思う。時間のないうちでよく更新されているHPは、目には見えないけれども保護者とつながっていると思う。
- ・ 学校現場から言えば、教師の数の充実、又、増やすこと。多忙化を減らすこと、ストレスが一杯ありかかえすぎです。生徒が目前にいるので、つついがんばっちゃいますが、疲労感が多いと、又、いわゆる世間の視線中公務員、教師には●●●●●かけているのを…。●●●(●●●)一人一人に目を向け一人一人の生徒の成長を見守りつつ●まにいくのが、生きがいと感じてとりにくんでいます。
- ・ 環境を整えること。プロジェクタを使える部屋、電気の明るさなど使いにくいところが多いです。
- ・ 簡単な政治学、政教分離は古い。小中から政治を学びながら、政治経済を考える方がよい
- ・ 基礎基本
- ・ 規範意識や集団で成功させる力を高めることを学校で教育していけると良いと思う。また、芦屋で育ち良かったと思える環境は物・人、共に更に充実させるとなると一層良いと思います。全ては、児童・生徒が自己肯定感を持ち、良い人格を形成していけるためと考えます。
- ・ 教員の資質の向上
- ・ 教員の多忙化は予想以上です。あれもこれもやらなければというのではなく、何に重点をおいて教育活動をしていくか、ある程度明確にしていく必要がある。「そこまでなくてよいこと」も選ばなければならないかもしれない。
- ・ 教員の多忙を本気で解消すること
- ・ 教員の能力向上。校務支援システムの改良をぜひお願いしたい。事務処理を●●にし、生徒のための時間を充実させたい。

- ・ 教師と生徒とパワーあふれる教育現場になるよう委員会、管理職のサポート、ゆとり(強さ)が必要
- ・ 教師の研修への積極的な参加、子どもへ真剣に向きあう心
- ・ 教職員の研修、雑務におわれ、生徒と向きあう時間が減っている。もう少し時間の確保が必要
- ・ 教職員の資質向上、企業の人材育成のプログラム等を教育現場にももちこんでいく
- ・ 規律を守ることの大切さ。訓練、練習をしていく必要性を知らせること。提出物など、基本的なことができない生徒が多いと感じる。社会に出ていく上で、絶対に必要なことだと感じている。
- ・ 心の教育
 - ・ 心の教育、人間として一番大切だと思います。「子どもに恥ずかしくない人間」に育てていければと思います。
 - ・ 言葉に対して重みを考える、思いやりの心を育てる、人権意識
- ・ 今後の社会情勢をできるだけ正確に把握し、子どもたちが将来困らないような教育内容を取り入れること。学校管理職と教委事務所の資質向上
- ・ 様々な家庭背景をかかえた子に対する教育支援。多文化、特別支援、複雑な家庭環境による学力低など、授業だけでは、サポートすることができないから
- ・ 私学に負けない特色化。山の手为学校圏巡回スクールバス。阪神間から集まり会議ができる、大きな施設。1500人が入れるホール。
- ・ 時間や余裕がなく、例年通りで進み振り返りや改善を十分にできていないので、力が入れると嬉しいです。
- ・ 施設の充実
 - ・ 少人数教育の充実、ひとりひとりにより関わることができ、さらに教育の質が上がると思われる。
 - ・ 職業教育、将来を見すえた多くの選択肢を与える必要がある
 - ・ 人材を増やす。仕事が間に合っていないため。勤務時間を大幅に越えて働いている方がたくさんいる。今の現状が正しいことだとは思わない。
 - ・ 総合的な学習を充実させ、知育偏重にならない強い芯を持たせる。人権意識を身につけさせる。
 - ・ 中学校に関しては部活動の充実。生徒達の1番好きなことで惹きつけることができれば学校も落ち着く。競技力だけでなく生徒指導を含めた指導が必要。そのための支援体制を！
 - ・ 直接関係ないかもしれませんが、人手不足だと感じる。業務内容が多く生徒ひとりひとりの時間を取ることができず、生徒・保護者の不満が溜まっている気がする。
- ・ 道徳や人権意識を育む取組みを大切にしていってほしい
- ・ ほうれんそう報告、連絡、相談、内容がぬけていることが多い。
- ・ 幼・小・中の連携。特に教職員同士のつながりを作ること。・どんな人が教えているのかをお互いが知ることで理解や情報交換・相談が少しでもスムーズになるのではないかな。
- ・ わかりやすい授業